

# 大日本新聞

版 コ ス シ

道新 No. 117 不日同報 雪 11-16 7 吹 (不編) (アへ強地)

高新 No. 204 不編同

新報 No. 32

甲口新 No. 45 必月着 10 吹 33 カ- プル- コ- グ- 16. 7 吹 (不編) (今 生 33) 吹

## No. 369

36. 2. 10

### 一、今に生きる回り舞台

— 群馬

群馬県上三原田にある世界最古の回り舞台が国の重要民俗資料に指定された記念に、十年振りで歌舞伎がかかりました。

麦畑をつぶした大棟敷は昔ながらの杉丸太六十本を組み合わせて作った巨大なアーチ型の劇場です。

この回り舞台は、今から百四十年前当時大工だった永井長治郎が作ったもので、この文化遺産を回すには、三十五人の人手が必要です。

農村の片隅に残された日本演劇の尊い遺産です。

### 一、言論への挑戦



右翼テロ — 音印リウ新つるれ及 28

二月一日夜、中央公論社社長嶋中鶴二宅が右翼テロに襲われるという事件が起りました。

犯人は翌日逮捕されましたが、十七才の少年で、大日本愛国党に属していたものです。

折から大阪では右翼の大会が開かれ、マスコミをなじつていました。

緊急質問に立つた社会党議員へいやがらせの電話がかかり、その身辺の警備は総理なみのものもしかです。

テロリズムは不安定な政治の中に生まれる毒花であれば、政治家こそ、勇氣と信念をもたなければならぬでしょう。

### 日本の群像

### 一、雪と闘う郵送隊

— 富山

深い雪にとざされて長い冬ごもりをする富山県の秘境、平村<sup>たらい</sup>でも、郵便輸送は休みなく続けられています。

積雪二メートル。五月までは雪の消えぬというこの地方では、もちろん一切の交通機関はストップ。

そこで郵便物は地元の人々の肩のつて運ばれるのです。

カンジキをはいても腰までもぐる雪地獄と闘いながら、一メートル先も見えなくなる猛吹雪の中で連日活躍する郵便輸送のキャラバン。しかも報酬が安いため老人と女ばかりで行われています。

春もまだ遠い雪国に、たくましく働く人々の苦勞ぶりを御覧下さい。

704 263 吹

28 吹 156 吹